

コマツの建設機械が働く現場と

アトラシアン・ウィリアムズF1チームの

マシンが走るサーキット。

求められる性能も、環境も、スピードも、まったく違います。

それでも、エネルギーを無駄にしないシステムをつくる、

限界の先にある効率と性能を引き出す。

この志は共通しています。



バーレーン南部サヒールのサーキット。新マシンのテスト走行において、ハイブリッドシステムの稼働データを収集。

コマツとアトラシアン・ウィリアムズF1チームは、

具体的な技術提携をしている訳ではありません。

それぞれのフィールドで、

「ハイブリッド」という同じコンセプトに向き合い、

異なる条件のなかで、その意義を最大化しようと挑戦しているのです。

その挑戦のあり方が響き合い、

未来のそれぞれのマシンの姿を少しずつ更新し続けています。

動き続ける現場。世界最速の一周。

まったく異なる領域で、

同じ問いに挑む技術者たちがいる。

エネルギーを無駄にしないという共通の意思が、

コマツとアトラシアン・ウィリアムズF1チームの挑戦をつないでいる。

技術者としてハイブリッドを極められないか？

そんな挑戦が響き合う。

Creating value together



ご覧ください。
ハイブリッドを極めようとする挑戦。



スペインのアンダルシア地方、サイナリーのブドウ園造成予定地において、ハイブリッド技術の有用性を検証。

ATLASSIAN
Williams
F1 TEAM

KOMATSU
PRINCIPAL PARTNER